

令和 6 年度
自己評価報告書

令和 7 年 3 月 31 日
アンビシャス国際美容学校

目次

I. 学校の現況.....	1 ページ
II. 評価の基本方針.....	2 ページ
III. 重点目標.....	3 ページ
IV. 項目毎の記述.....	4～8 ページ

I. 学校の現況

(1) 学校名 アンビシャス国際美容学校

(2) 所在地 大分県大分市大字市 551 番地

(3) 沿革 2003 年 『ワールドビューティーアカデミー』開校（大分市新明治）

（厚生労働大臣指定 美容師養成施設）

2004 年 『アンビシャス国際美容学校』に校名変更

2007 年 わさだエリアに校舎を新設移転（大分市市）

2010 年 大分県知事の認可を受け専修学校に移行

2013 年 創立 10 周年 記念事業実施

・「アンビシャス国際美容学校同窓会」発足

2018 年 創立 15 周年 「超美容師特化型カリキュラム」始動

・「AMBI 祭」会場をトキハわさだタウンへ

2019 年 高等教育の修学支援新制度の対象校に認定

2021 年 文部科学大臣より職業実践専門課程に認定

(4) 学科の構成

美容科 昼間課程 ／ 美容科 通信課程（春期・秋期）

(5) 学生数及び教職員数(2025 年 3 月 1 日時点)

学生数	美容科 昼間課程	23 名
	美容科 通信課程	41 名
教職員数	専任教員	6 名
	兼任教員	6 名

(6) 施設の概要

普通教室 2、実習室 1、消毒室 1、多目的室 1、図書室 1、職員室 1、理事長室 1、医務室 1

II. 評価の基本方針

(1) 学校評価への取り組み

学校が実践的な職業教育等を目的として自らの教育活動やその他の学校運営について、関係業界等のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価・公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、学校関係者等への適切な説明責任を果たすとともに理解と参画を得ることで、連携と協力による特色ある学校づくりを進める。

これにより、学生が質の高い実践的な職業教育等を享受できるよう、学校運営の改善と充実を目指すための取り組み。

(2) 自己評価

評価項目・指標等を設定し、また外部アンケート等を活用し、自己評価を実施する。

【自己評価項目】

- 教育理念・目的・人財育成像
- 学校運営
- 教育活動
- 学修成果
- 学生支援
- 教育環境
- 学生の受入れ募集
- 財務
- 法令等の遵守
- 社会貢献・地域貢献

【外部アンケート】

- 在校生アンケート（学校生活に関するアンケート・授業アンケート）
- 卒業生アンケート
- 就職先アンケート

(3) 学校関係者評価

学校関係者を選任し、学校の諸活動の観察等を通じて、当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価を実施する。

III. 重点目標

(1) 重点目標

昼間・通信の区別なく国家試験全員合格を当たり前に！

① 昼間課程の国家試験合格までの流れを確立させる

毎回だれか一人は不合格になってしまっているのが現状。対策の在り方に問題があるのか、それとも 2 年間の指導に問題があるのか、また別の問題か、はたまたその全てなのか、、、長期・中期・短期的な目線で、国家試験に全員合格させるために何が欠けているのか課題を洗い出し、全員合格のための指導態勢を確立させよう！

② 通信課程の整備

ここ数年、通信課程の入学者が増加傾向にある。数年前の倍以上の在籍者となった今、これまでのスクーリングのやり方で良いのか検証する必要がある。また、通信生の国家試験の合格率は、昼間生に比べると全国的に低い。登校日数が圧倒的に少ない通信生を全員合格させるための態勢を構築する必要がある。

- スクーリング実施方法の検証
- 出欠席の管理
- 補講の管理
- 国家試験対策（春入学者用と秋入学者用）

③ 役割分担を再編成

2023 年度は、教務が 2→4 名となり、教務会議等の開催により業務の共有や分担を図った。一部移行や複数で対応できるといった変化はあったものの、未だ偏りが見られる。勤務時間の多くを割く昼間課程の分掌をそのままに、その他の業務の分担を図る。

(2) 取組状況・成果

①不合格になるのは筆記試験だったので、筆記教科担当教員とクラス担任も含め、連絡会議を実施した。担当教員が、他の教科の状況を成績だけでなく受講態度も含め共有することができ、連携しながら対策を行うことができた。

国家試験結果・・・昼間課程：全員合格 通信課程：1 名不合格(実技)

②通信管理者を配置し、教科担当者と事務管理者を分離することで、体制が整いつつある。

③年度中に教職員の移動があり、新年度からも変更の予定。再度の再編成が必要となった。

(3) 課題

①どうしても埋まらない個人差がある。

②都度対応して、大きな課題はない。

③教員の入退職は、既存の教員の負担となる場合もある。

(4) 今後の取組

①連絡会議を学期ごとに開催し、教職員の連携を強化する。

②継続。

③再編成し、常勤と非常勤・外部講師と連携を取りながら学校運営にあたる。

IV. 項目毎の記述

(1) 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人財像・育成目標は定められているか。	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人財像・目標などが、職員・学生・業界関係者・保護者等に周知がなされているか。	4	③	2	1
社会や業界のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか。	④	3	2	1

①課題

周知にも努めており、それらをもとに学生個人の目標設定など指導しているが、日々の行動への落とし込みまではできていない。

②今後の改善方策

これまで通り、理念にある行動指針をもとに学期ごとの行動目標を設定させることで、浸透を図る。

③特記事項

今年度、対応が難しい学生が数名おり、理念云々というよりは日常的な行動でさえ指導が行き届かない。繰り返し指導しているものの、外部からの指摘もあり、対応に苦慮している。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念等に沿った運営方針が定められているか。	4	③	2	1
運営方針を実践するための事業計画が策定されているか。	4	③	2	1
運営組織や意思決定機能は明確化されているか、また有効に機能しているか。	4	3	②	1

①課題

定めは十分だが、定めに立ち返るよりは、その場の判断になってしまうこともある。教職員の移動で体制が定まらない。

②今後の改善方策

来年度は教職員の態勢も安定しそうなので、担当の再編成を行う。役割の分担や活性化を図る。

③特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
育成目標を達成するための修業年限に応じた教育到達レベルは明確にされているか。	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等との連携によるカリキュラムの開発・作成が行われているか。	4	③	2	1
学生の現状や業界のニーズにより、教育方法の工夫・見直しが行われているか。	4	③	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか。	④	3	2	1
成績評価、進級・卒業の認定基準は明確かつ適切に運用されているか。	④	3	2	1
育成目標を達成することができる要件を備えた教員が確保されているか。	4	③	2	1

①課題

その期によって異なるが、“専門学校”で“専門的な教育”を受ける状態に達していない者がいる。教員は、あくまで美容の専門教育の教員であり、教育者でなければカウンセラーでもない。対応に苦慮している。

②今後の改善方策

学生一人ひとりに特性はあれど、美容の専門教育に集中できるような学校づくりと指導を行う。

③特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
就職指導計画が策定され、就職率の向上が図られているか。	4	③	2	1
資格取得指導計画が策定され、資格取得率の向上が図られているか。	4	③	2	1
卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	③	2	1

①課題

同窓会は機能していない。美容業界で働く意識づけに苦勞する者がいる。

②今後の改善方策

卒業生が授業の講師を務めてくれることは、学生にとっても卒業生にとっても刺激になるようなので、今後も卒業生と在校生の接触を増やしていきたい。

③特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
進路に関する支援体制は整備されているか。	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか。	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか。	4	③	2	1

①課題

先の記述にもあるように、本来の美容の専門的教育以外の支援が必要な学生が増加している。

②今後の改善方策

引き続き、学期ごとの担任面談と進路面談を実施し、必要に応じて家庭とも積極的に連携していく。

③特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	③	2	1
学外実習等に関する体制は整備されているか。	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか。	4	③	2	1

①課題

校舎の築年数が経過してきているので、あちこちに傷みが出てきている。本当に細かな修理を度々している状態にある。

②今後の改善方策

施設や備品は、都度修理や入れ替えを行う。

③特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
高等学校等接続する機関に対する情報提供の取り組みが行われているか。	4	3	②	1
学生募集活動は、適切かつ効果的に行われているか。	4	3	②	1
学納金は妥当であるか。	4	③	2	1

①課題

高校生の応募が少なめだが、高校で目立った募集活動を行っていないので、その結果といえはそれまでである。

②今後の改善方策

高校訪問担当者を設置。

③特記事項

昼間・通信ともに、授業料を増額する。

昼間・通信ともに、教育訓練給付金の対象講座の指定を受けた。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	③	2	1
学生数変動に応じた計画が組まれているか。	4	③	2	1

①課題

学生数は十分ではないが、赤字ではない。

②今後の改善方策

あらゆる物価高騰により、授業料を増額する。特に通信は、開校以来初めてである。

(昼間：2026年4月入学から 通信：2025年秋入学から)

③特記事項

変わらず借金は無い。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	③	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4	③	2	1

①課題

努めているが、手探りの部分もある。後手に回ることもある。

②今後の改善方策

関係機関と連携して、継続して努めていく。

③特記事項

学校評価委員会は書面にて評価を行う。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	③	2	1
地域に根差した学校となるための活動を積極的に実施しているか。	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4	③	2	1

①課題

学生も少なく、物理的に地域の期待に応えることができないこともある。

②今後の改善方策

特に地域の要望などには、関わっていく。

③特記事項

主な地域交流…清掃活動、AMBI 祭 in わっタン、保育園や養護施設、学童保育との交流

令和 6 年度
学校関係者評価報告書

令和 7 年 4 月 30 日
アンビシャス国際美容学校

1. 学校関係者評価委員

《美容関連企業》

株式会社ラミル・ビー 代表取締役 久保田努

有限会社ブームコーポレーション 代表取締役 久保真哉

said. hair and lifestyle 代表 近藤孝則（卒業生）

《地域協力企業》

有限会社ぶんどう 代表 分藤貴弘

2. 令和 6 年度年度の委員活動等

4 月 校長が各委員へ当該年度の取り組みを個別に説明。

4 月 9 日他 久保委員が 2 年生を対象に授業『デザインカラー』を実施（全 3 回）

5 月 17 日 久保田委員が 2 年生を対象に授業『美容経営学』を実施

10 月 31 日 全委員が校内コンテスト『AMBI 杯』に審査員として参加。

翌 4 月 書面による学校関係者評価を実施。

3. 令和 6 年度 学校関係者評価報告

以下の項目についての評価結果は別紙の通り。

I. 学校の現況

II. 評価の基本方針

III. 重点目標

IV. 項目毎の記述

V. その他

I. 学校の現況について

学生数の確保が難しい現状だろうが、より学生数が増加し活気あふれる学校として、これからも益々の繁栄に期待する。

特に変わった点はないので意見はない。

近年、通信課程の学生数が昼間課程を大幅に上回っていて、次世代の人材育成の観点からすると、昼間課程の学生数確保への課題を検証する必要がある。

II. 評価の基本方針について

素晴らしい評価方針だ。

特に変わった点はないので意見はない。

異業種の評価委員を増やして、多角的な評価からアイデアを吸収し、学生確保への足掛かりにしているかどうか。

III. 重点目標について

(1) 重点目標

国家試験全員合格というのはとても難しいだろうが、そこは最低限の必須課題でもあると考えられるので、これからの取り組みも含め期待している。

美容室からすると、国家試験に不合格で入社となるとその後のプランにかなり影響が出てくる。だから、ぜひ全員合格を当たり前にしてほしい。

“国家試験合格率 100%”は、かなりパワーワードになると思うので、その「課題の洗い出し」が今後どのように行われていくのか気になった。

通信生もここ数年多いので、通信でも AMBI なら合格できるというイメージがつくと強みになる。

昼間課程と通信課程を同等に対応するのは難しいと思うが、どちらかに偏ることなく、課題の整備に期待する。

(2) 取組状況・成果

これからも成果に期待する。

筆記試験については、過去の問題をどんどん解いていくのが一番だと思うが、在校生アンケートにも「問題を解きたい」と答えている学生もいたので、そういった形式を増やすとよい。

自分自身が学生の頃を振り返ると、落ちた人は筆記だったが、やはり授業中寝ていたりと普段から「この人落ちるかもなあ…」と感じている人だった。国家試験直前に焦らず、早い段階から意識を高めていけるとよい。

大きな問題はない。引き続き国家試験全員合格を目指して頑張ってもらいたい。

(3) 課題

明確な課題があればそこを追及できるので、良いのではないだろうか。

集中していない学生やうるさい学生、点数が悪い学生と良い学生とでは、分けて教えていく方がよい。

十人十色である。

少人数制の学校の特色を生かして、細かい対応に期待する。

(4) 今後の取組

取り組みの成果に期待している。

特にない。

既存の教員の方々の負担が多くなならないことを切に願う。

共通認識の共有化を引き続き徹底し、時代の変化に対応してほしい。

IV. 項目毎の記述について

(1) 教育理念・目的・人財育成像

理念や指針の落とし込みは本当に難しいことだが、教員の行動や言動から落とし込めることも多くあるので、学校のレガシーとして受け継がれていくことが理想的かもしれない。

対応が難しい学生は、学校だけで教育していくことは難しいのではないか。

対応が難しい学生が気になるが、主な行動はこれまで通りで良いと考える。

大きな目標を持たせることの難しさはあると思うが、日常からの必要な生活習慣さえも問うていかねば勉強までたどり着かない若者が増えてきたことは間違いない。

(2) 学校運営

課題改善を期待する。

特にない。

①の課題となっている部分がクリアになりそうなので、良い方向に進むことを願う。

教員の能力向上だけではなく、色々なアイテムを導入することでバランスを保ってほしい。

(3) 教育活動

今後の改善方法に期待する。

今いる教員の方が美容の教育に集中できるように、カウンセラー的な方がいるとよいのでは。

(1)でも気になったが、大きな難題に直面しているようで心中を察する。程よい距離感で指導にあたってほしい。

日本全体の教育活動が難しい時代に入っている。それに細かく対応するには時間がかかると感じている。

(4) 学修成果

卒業生と在校生の接触はかなり有意義だ。

実際に就職してきた卒業生には、社会人としての意識が十分にあったので問題ない。

特に年代が近いと、より反応が良さそう。

つながることの希薄化が進む時代の中で、それを実行していくことは苦勞するであろう。しかし、大切なことなので、引き続き目指してほしい。

(5) 学生支援

評価も高いため、今後も引き続きお願いしたい。

美容の専門的教育以外の支援は必要だ。

美容師ではない他の進路を思っているのか、、入学前の指導というか、事前の何かが必要なかもしれない。

学生の資質を変えていくことはなかなか難しいので、接続機関とある程度連携して、入学前のリサーチは必要だと感じる。

(6) 教育環境

素晴らしい。

特にない。

校舎はもう 20 年近くなるが、行く度にきれいにしているなあ。と感じている。

大幅な投資は難しいので、現状のキープを図りながら、学生数の確保から投資の時期を見極めることが必要だ。

(7) 学生の受入れ募集

業界自体の魅力や革新的な仕事に変化していかないといけないと業界に携わる者として反省しているが、その中でも人気の専門学校もあるから、貴校の努力にも期待したい。

授業料の増額は、色々なものが高騰しているので仕方がないこと、むしろ必要なことだと考える。

学生の中からオシャレで雰囲気の良い人物を連れてガイダンスなどに行けたら、興味を持つ高校生も増えるかもしれない。

他の項目と比べると、一番評価が低いようだ。職員はもちろんだが、外部との連携の中からも学生募集や紹介網を構築する必要がある。

(8) 財務

部外者なので、回答は控える。

(7)同様、授業料の増額は、色々なものが高騰しているので仕方がないこと、むしろ必要なことだと考える。

借金なしがよい。

適正である。

(9) 法令等の遵守

特に問題ない。

近年の学校などでクレーム対応が増加していることを踏まえ、対応策を構築していく必要がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

素晴らしい活動を継続できることを期待している。

AMBI の制服を着ている時は、特に、近所の方やお店の人に会ったら挨拶！これを徹底しておけば大丈夫！

引き続き、実施に努めてほしい。

V. その他、ご意見等

美容業界の魅力度を上げ不安のない将来がイメージできるように、貴校が出来ることや貴校にしか出来ないことを発信することを勝手に期待している。

在校生アンケートを見ると、21 期生と 22 期生とでは、クラスの空気感が違うと感じた。2 年生になって、やる気が出たり、士気が上がることを期待する。

毎年 AMBI 祭から AMBI 杯までの期間が短く、準備や練習が追いついていないような気もしている。AMBI 杯のクオリティが全体的に高くなることを期待する。

様々な情勢の変化があるようだが、AMBI の魅力をこれからも磨き続けていくことを応援している。